

# 令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

森林保全課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園（ひろしま遊学の森）		
所在地	広島市東区福田町 10166-2		
設置目的	○緑化に関する知識と技術の普及啓発 ○緑化の推進		
施設・設備	面積 124.97ha、管理事務所等(主要施設 4 棟)、遊歩道(12,000m)、駐車場(474 台)等		
指定管理者	6 期目	R4. 4. 1～R9. 3. 31	ひろしま遊学の森管理グループ
	5 期目	H29. 4. 1～R4. 3. 31	ひろしま遊学の森管理グループ
	4 期目	H28. 4. 1～H29. 3. 31	みずえ緑地(株)
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	みずえ緑地(株)
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	みずえ緑地(株)
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	みずえ緑地(株)

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入園者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	6 期	R4	100,000 人	106,887 人	12,387 人
	5 期平均 H29～R3	98,000 人	94,500 人	1,165 人	△3,500 人(96.4%)
	4 期平均 H28	96,870 人	93,335 人	△4,195 人	△3,535 人(96.3%)
	3 期平均 H23～H27	96,870 人	97,530 人	△1,175 人	660 人(100.7%)
	2 期平均 H20～H22	93,900 人	98,705 人	4,769 人	4,805 人(105.1%)
	1 期平均 H17～H19	93,600 人	93,936 人	12,513 人	336 人(100.4%)
	H16 (導入前)	—	81,423 人	—	—
増減理由	○平年よりサクラの開花時期が遅れたことによる春季利用者の増 ○休眠施設の利活用のため設置したわんこひろば等の利用者の増				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者へのアンケート調査	施設利用者、研修会参加者等 841 人
	【主な意見】	【その対応状況】
	洋式トイレを増やしてほしい	令和4年度に主要建物のトイレを改修した
	樹木の名札を充実してほしい	QRコード付きの名札等に順次更新している

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報 (必要随時)	○	施設の老朽・損傷状況等
管理運営会議 (1回・現地)	【特記事項等】 広島市森林公園と共同で施設の運営について意見交換を行った。		
現地調査 (随時)	【指定管理者の意見】 広島市森林公園との連携における課題の改善に努め、両施設の利用促進を図る。 【県の対応】 指定管理者及び広島市と協議し、連携の取組を支援する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	6期	R4	62,226	1,521		—	—	—	—
5期平均 H29～R3		60,705	4,135						
4期	H28	56,570	820						
3期平均 H23～H27		55,750	2,500						
2期平均 H20～H22		53,250	△3,210						
1期平均 H17～H19		56,460	△5,794						
H16 (導入前)		62,254	—						

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	62,226	61,176	1,050	光熱水費の高騰に係る委託料の増
		料金収入	0	0		
		その他収入	0	0		
		計(A)	62,226	61,176	1,050	
	支出	人件費	28,981	28,277	704	職員給与費の増
		光熱水費	2,278	1,773	505	電気料金の高騰による増
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	7,755	7,586	169	設備点検費の増
		施設維持修繕費	3,514	4,139	△625	電気設備の修繕箇所数の減 管理車両維持費の減
		緑地管理費	8,233	9,726	△1,493	資機材購入費の減
		事務局費	7,458	5,578	1,880	ホームページの改修等による増 管理車両リース費の増
		その他	4,022	4,106	△84	
	計(B)	62,241	61,185	1,056		
	収支①(A-B)		△15	△9	△6	
	自主事業 (※)	収入(C)	0	0		
支出(D)		0	0			
収支②(C-D)		0	0			
合計収支(①+②)		△15	△9	△6		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	令和3年度に引き続き、自然豊かなフィールドを活用して、季節の草花や生物を学習できる研修会等を実施した。 広島市森林公園との連携イベントとして、屋外での自然体験をメインとした「森の学校」を開催した。	多様な研修会等の開催に加え、広島市森林公園との共催イベントを通して、幅広い年齢層に対して緑化に関する知識・技術の普及がなされている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	園内3箇所に来園者が無料で利用できるWi-Fiを設置したほか、レストハウス裏庭に憩いの森をつくるなど、来園者の快適性の向上に努めた。	通信機器の設置及び未活用であった空間を休養場所として整備するなど、来園者の目線に立った確かな整備がなされている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホームページを随時更新し、内容の充実を図っているほか、SNSを活用して開花情報を発信するなど、施設の利用促進に努めた。	SNSでは見頃の植物の紹介を兼ねて豆知識を発信するなど、知識の普及に努めている。また、ホームページの閲覧者数が大幅に増加していることから広報業務の効果が認められる。
	○施設の維持管理	来園者の満足度向上のため、園内の展示植物を拡充したほか、ボランティア団体との協働により遊歩道等の清掃に努めた。	遊歩道等の清掃が園内の快適性に寄与しているうえ、展示植物の拡充により園内の魅力が向上し、一層来園者が緑に親しめる環境づくりがなされている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	2社JVによる広島市森林公園との一体的な管理運営体制をとることで、各社の得意分野を活かした効率的な運営に努めている。	各社の得意分野を活かし、専門的知識を有した職員を適材適所に配置することで、設備管理や緑化相談に適切に対応する体制が整っている。
	○効率的な業務運営 ○収支の適正	事業計画に基づく管理運営体制の整備や、施設の維持管理に係る支出管理等を適切に行っている。	施設の定期点検等によって、現況を適切に把握しており、指定管理料の範囲内で効率的に管理運営が行われている。
総括		令和4年度においても、広島市森林公園との共催による幅広い年代をターゲットとした多様な研修会等の開催や、花木の植栽等により魅力の向上に努め、入園者数や利用者満足度等において目標を達成することができた。引き続き、広島市森林公園と連携を強化し、施設の活性化を図る必要がある。	来園者へのアンケートでは、施設や研修会等の満足度が高く、再訪を望む声も多いことから、ニーズに沿った管理運営がなされていることが評価できる。 引き続き、広島市森林公園との連携イベント等を積極的に企画し、県民サービスの幅を広げていく必要がある。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 獣害対策や多様な植物の新植により、植物園機能を再生する。</li> <li>○ 広島市森林公園との共催イベントの継続実施により両園の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化した木造展望台を撤去する。</li> <li>○ 病虫害対策や危険木伐倒を行う。</li> </ul>
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島市森林公園との一体的な運営管理による活性化と相乗効果を検証する。</li> <li>○ 設置目的に沿った機能をより充実させた施設の運営管理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化した施設において、優先度の高いものから計画的に修繕する。</li> <li>○ 施設の利用価値の向上のため、既存設備の修繕方針を定める。</li> </ul>